令和８年９月 28 日
(地独)青森県産業技術センター
水産総合研究所

2026 年ヒラメ稚魚分布密度調査結果（太平洋）について

当研究所では太平洋における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を1999年から行っており、2026年は7月22日、8月21日、9月15日に桁網（水工研Ⅱ型）を用いて三沢市沖8点で行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0-2個体/1,000㎡の範囲にありました（表1）。採集したヒラメの全長組成は、8月21日に水深5mで60-69㎜、7mで40-49㎜、9月15日に水深7mで110-129㎜でした（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、2026年は1（表1）で、1999年以降の平均値60を下回る水準でした（図3）。

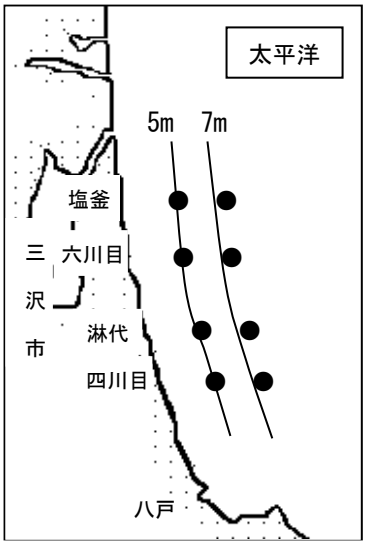

図１　調査地点

表１　ヒラメ稚魚分布密度

太平洋　　（個体/1,000m²）

水深	5m				7m				5m	7m
調査月日/調査点	四川目	淋代	六川目	塩釜	四川目	淋代	六川目	塩釜	平均	平均
2026.7.22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2026.8.21	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1
2026.9.15	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1

＊桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

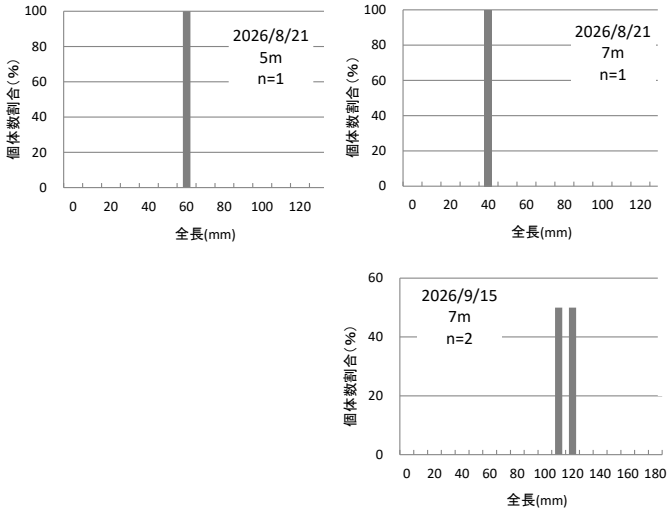

図２　採集したヒラメ稚魚の全長組成

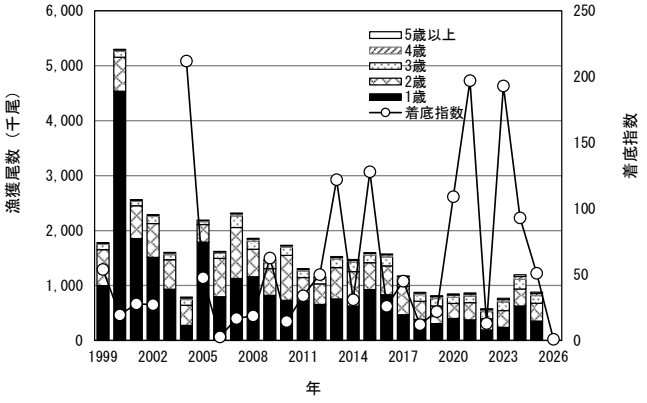

図３　太平洋のヒラメ着底指数と年齢別漁獲尾数の推移